

札幌市における電力調達及び再エネ電力導入拡大スキーム検討業務に係る 企画競争評価基準

1 本書の目的

本書は、「札幌市における電力調達及び再エネ電力導入拡大スキーム検討業務」（以下「本事業」という。）に係る公募型企画競争における契約候補者を選定するための評価基準及びその他必要な事項について定めるものである。

2 審査・評価の実施主体

本事業に係る企画提案書の審査・評価は、本市が設置する「札幌市における電力調達及び再エネ電力導入拡大スキーム検討業務に係る企画競争実施委員会」（以下「実施委員会」という。）において行う。

3 審査方法

委員は、「札幌市における電力調達及び再エネ電力導入拡大スキーム検討業務 提案説明書」、「札幌市における電力調達及び再エネ電力導入拡大スキーム検討業務仕様書」及び本企画競争評価基準に基づき、企画提案書の内容を審査し、採点を行う。

委員は1つの企画提案につき100点満点で採点し、各委員の評価点の平均が60点を超え、かつ、獲得点数の最も高い者を契約候補者とする。

4 審査手順

(1) 審査

企画提案書に基づき、ヒアリング審査を行い、審査後、各委員は採点を行う。

ただし、多数の企画提案書の応募があった場合は、企画提案書に基づき、書類審査による採点を行い、参加者を3者程度選考してからヒアリング審査を実施する。

(2) 契約候補者の決定

(1)の得点に基づき、契約候補者を選定する。

5 採点の方法

委員は、提案に対し別添により、各項目について下記のとおり採点する。なお、間の点数は認めない。

(1) 20点満点の項目の場合

特に優れている→20点、優れている→16点、普通→12点、やや不十分→8点、不十分→4点、評価不能→0点

(2) 15点満点の項目の場合

特に優れている→15点、優れている→12点、普通→9点、やや不十分→6点、不十分→3点、評価不能→0点

(3) 10点満点の項目の場合

特に優れている→10点、優れている→8点、普通→6点、やや不十分→4点、不十分→2点、評価不能→0点

(4) 5点満点の項目の場合

特に優れている→5点、優れている→4点、普通→3点、やや不十分→2点、不十分→1点、評価不能→0点

6 最高得点者が複数となった場合（同点の場合）

契約候補者となるべき最高得点を得た者が複数あるときは、「8 評価基準（別表）」における「想定シナリオ検討に基づくモデル構築の実現性」、「ステークホルダー・ダイアログの企画力」の合計点の得点が高い方を上位とする。

なお、これによっても優劣がつかない場合は、実施委員会での協議により契約候補者を選考する。

7 企画提案書の提出が1者からのみであった場合

委員の評価点の平均が60点を超える場合には契約候補者として選定する。

8 評価基準

別表のとおり

項番	大項目	中項目	配点	審査基準
1	標準的な提案項目	関連業務の履行実績	5	国または地方自治体における再エネ導入、環境価値調達、PPAモデル構築等の類似業務実績が豊富にあるか。
2		業務実施体制	10	主担当者の経験・力量は十分か。エネルギー政策、電力市場、法制・金融（特区等を含む）に精通した専門家が適正に配置されているか。
3		本市の現状と課題	5	エネルギー政策の基本的視点（S+3E）を的確に理解し、本業務が目指す方向性（安定供給と脱炭素化の両立）を踏まえた提案となっているか。
4		業務実施スケジュール	5	履行期限に向けた作業工程が具体的かつ無理のないものとなっているか。また、予期せぬ課題への対応や本市との連絡調整を密に行うリスク管理体制が整っているか。
5	業務内容に係る提案項目	事例調査と手法整理の的確性	15	他自治体の先進事例（PPA、非化石証書の共同購入、自治体新電力等）の選定方針が本市の課題解決に合致しているか。また、サプライチェーンの可視化等に向けた調査手法は具体的かつ実現可能か。
6		想定シナリオ検討に基づくモデル構築の実現性	20	本市の施設特性や所有発電所の状況を踏まえた想定シナリオの検討手法が論理的であり、それに基づき構築される事業モデルの経済性・リスク評価等のアプローチに説得力があるか。
7		再エネ発電設備の立地可能性の高いエリアの抽出・検討に係るアプローチの的確性	15	札幌市の都市計画区域内において、再エネ発電設備の長期的な導入量を見通すため、再エネ発電設備の立地可能性の高いエリアの抽出・検討に必要な既存情報の収集・整理に関する知見や導入量を見通すためのプロセスが具体的かつ実現可能か。
8		ステークホルダー・ダイアログの企画力	15	想定シナリオの実現に対して、電力の脱炭素化に影響力のある関係者をリストアップする際に重視する視点が的確か。また、本市が求める成果を導き出すうえで、効果的な議論の進め方に説得力があるか。
9		独自提案	10	提案説明書に無い項目で、本業務に資する独自の提案があるか。
合計			100	